



底辺のコミュニティ  
地下組織  
最低の国

EgofiLter 6th job

# UndergroundStates

2012.9.13(thu) ~ 17(mon) @ 下北沢シアター 711

UndergroundStates  
EgofiLter 6th job

関大輔

登場人物

倉田 敏行

池沼 徹

塩原 桜子

高柳 一

三沢 香奈枝

吉岡 民子

藤島 拓海

三田村 俊樹

大道 由美子

徳光 登美子

太田 修平

室生学  
尾木夏実  
羽柴仁  
(14名)

## ☆舞台装置と設定についての注釈

2010年11月初旬より2012年7月までの一年半を描く。

舞台は横浜市中区寿町。

ドヤ街の中にある古ぼけた食堂が今回の作品の舞台である。

以下荒い説明。

食堂は雑居ビルの1Fにあり、2Fから6Fまではドヤになっている。

ドヤは日雇い労働者のための簡易宿泊施設の通称。一室およそ3畳。

ドヤの入口は2Fで、別口の階段から入る（という設定）。

横浜市及びNPOの日雇い労働者・ホームレス支援指定を受けているので、宿泊はどや券、食事はパン券という横浜市中区発行の生活補助券により、中区在住の生活困窮者は無料で飲食宿泊が可能。

※どや券・パン券の支給は実際に横浜市中区が実施していた生活困窮者支援制度であるが、2012年11月末日をもって中区はこれらの支給制度を廃止した。

ビルの名前は寿栄第8ビル。宿名は「寿栄東荘」食堂名は「寿栄東食堂」

上手と舞台奥にカウンター。上手奥に厨房（厨房は暖簾の奥にあり舞台面にはない）。

下手前と中央前に細長い4人掛けテーブルが2つ。

下手に入口。入口の戸はガラス戸の引き戸。閉まっけていても外の様子が窺える。レジが一台。

ドアの外には喫煙スペースと小さなたまり場、傘たてがある。これら全てが演技スペースである。

現実的ではないが、この作品ではラストシーンである14場以外の全てのシーンで雨が降り、霧が立ち込めている。対照的に14場は快晴である。

2010年11月5日。

寿栄東食堂。早朝。小さなスイーツケースを手を持った地味なワンピースを着た女が不安げな表情を浮かべながら店内を見回している。三沢香奈枝である。

その後ろに柔らかな表情を浮かべた男、室生学が立っている。その横に小柄な男、羽柴仁。

室生.. どう？

三沢.. はい...:..なんかすごいですね

室生.. 働けそう？

三沢.. はい。頑張ります。私、なんでもやります。でも

室生.. うん？

三沢.. 私、あの、本当に何にもわからなくて...

室生.. 最初はね、掃除をしてもらったり注文をとってもらったり。大丈夫、忙しい店じゃないから。まあ  
ゆっくりとね

三沢.. ごめんなさい

室生.. それで、君の住まいなんだけど

三沢… はい。室生さんの経営されているユースホステルみたいなところがあるんですね

室生… ユースホステル？え、誰に聞いたの？

三沢… 羽柴さんに

室生… え

室生… 羽柴さん！

羽柴… わかりやすい喻えがないかなあと。でも間違っではないでしょう？実際海外からのバックパッカーが利用することもあるわけですし

室生… しかし

三沢… あの

羽柴… ちゃんと説明しましたよ。ドヤのことは

三沢… はい。ドヤ。伺ってます。あの、言葉が出てこなくて

室生… 本当に？

羽柴… はい。ドヤ。「宿とは呼べない場所」というニュアンスを込めてヤドを逆さに呼んでドヤ。日雇い労働者のための簡易宿泊施設です。ドヤは場所によってはドアに鍵もかからず、不潔でプライバシーが守られず、とてもじゃないが若い女性が泊まれる場所じゃないんですが、うちはもつとちゃんとしてますんで。狭いビジネスホテルだと思ってください。ただ、残念ながらとても狭いんですが

三沢.. 大丈夫です

室生.. 女の人が住むところじゃないんだ。考え直してもらっていいんだよ。部屋はすぐに手配するから。それまではちゃんとした、ホテルに泊まるという

三沢.. いえ、本当に大丈夫です。お金も、ないですし、これ以上室生先輩にご迷惑はおかけできません  
羽柴.. 心配性だな、室生さんは。本人が大丈夫って言っているんだから、大丈夫ですよ  
室生.. かし

三沢.. で、そのなんでしたっけ。ドヤは何処にあるんですか？

室生.. え

三沢.. 近いんですよね

羽柴.. ここです

三沢.. え、ここ？ここって

羽柴.. このビルです。2階から6階までが所謂、ドヤになります

三沢.. え、ここ、雑居ビルですよ。だって一階ってここだけですよ

羽柴.. はい。一階はこの店だけです

三沢.. お部屋って何部屋あるんですか？

羽柴.. 50室です

三沢… え？50？ここに？

羽柴… はい。一室の広さは約3畳弱。風呂無し。部屋によっては窓がありません。トイレは1フロアにひとつ。簡易シャワーは偶数階に設置していますが、さすがにこちらは女性にお勧めはできません。

三沢… は、はい

羽柴… 好きな部屋を選んでいいですよ。空室は腐るほどありますから

室生… 三沢さん

三沢… ……

室生… いいんだよ？断って

三沢… 平気です。狭いのは慣れてますから

羽柴… ああそうか。なるほど確かに。だって…

室生… 三沢さん。そうだ紹介するね。ここの調理担当の吉岡さん。民子さーん

厨房に入っていく室生

羽柴… 優しすぎだ。室生さんは

三沢… ありがとうございます

羽柴… 我々的にはいつあなたが尻尾を巻いて退散しても一切問題はない。明日溶けるように消えてもらっ

でも構わないんだ。これはあなたの生活を支えるための無償奉仕なんですよ

三沢…え

羽柴…迷惑だけは、かけないでくれ（着信音）失敬。（電話をとる）もしもしい、羽柴です

店の外に出て行く羽柴。

世界が色を失う。

三沢…わたしは前もってあの陰気な男に聞かされていた通り、南口に降り立った。

根岸線の線路と、その横を縦に交わるように流れる川を境に、街は富者（ふしゃ）の街と貧者の街に分される。富者の街へのパスポートを持たないわたしは、目に見えない国境線の存在を高らかに主張する線路を苦々しく見つめながら、暗く陰を落とす貧者の街へと歩みを進める。

高速の高架線を潜り抜けたその先が、わたしが暮らすことになる街。

高架を潜り抜けたその瞬間、何者かが巨大な扉を閉め、錠前を掛ける音がしたような気がした。

錠前が掛かる音。反射的に音の鳴った方向を向く。

店の入口。

強張った表情で店の戸を見つめる三沢。

しばしの間。

戸から目を背け、自分の中に残った僅かな勇気を振り絞るように静かに呟く。

三沢…大丈夫。私は、頑張れる。この、小さな食堂で、私は生まれ変わって、きつと、きつと全て忘れることができる、そして幸せに

入口の前に黒いスーツを着た眼光の鋭い男（倉田）が立っている。

三沢…！！！！

倉田…なれると思っているんですか？お姉さん

三沢…あ……

暗転

試し読みしていただけるのはここまでです。

この続きは商品をご購入の上ご覧下さい。

UndergroundStates（おためしサンプル）  
Egofilter 6th job

---

2012年12月15日 初版発行

著 者 関大輔 © 2012年  
発行者 石村寛之  
発行所 有限会社レトロインク  
〒181-0001 東京都三鷹市井の頭4-26-7  
電話 0422-49-2903

---